



# 大久保小だより



平成30年11月1日第9号  
 さいたま市立大久保小学校  
 さいたま市桜区五関21  
 048(854)7636  
 男子147名女子122名計269名

学校教育目標 **カいっぱい かしくく やさしく たくましく**  
 ～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## 「当たり前」ではない

校長 金子 要一

6年生は10月3日、4日の一泊二日で、日光へ修学旅行に行ってきました。天候に恵まれ、計画していた日程はすべて実施できました。

なかでも、華厳の滝は台風24号の影響で、通常の55倍という水量でした。

この写真を撮っている時も本降りの雨のような水しぶきでした。これも含め、世界遺産の日光を体験した6年生は有意義な時を過ごしました。

さて、その修学旅行の出発式で、小沼先生が「修学旅行に行けることに感謝しなさい。」という内容の話をしました。6年生は覚えているでしょうか？

それを聞いて、下のCMを思い出しました。気になっていたCMだったのです。



### 問題。

サラさんは、起きている時間の半分で家の手伝いを、残りの時間の3分の2で妹の世話をします。6時間寝たとき、勉強は何時間できますか？ 学校へは、歩いて往復3時間かかるものとします。

この問題は、本当に問題です。世界では、子どもの6人に1人が学校に通っていません。世界で、日本で、子どもの権利を守るために「セーブ・ザ・チルドレン」の活動に、ご協力ください。世界には、想像もできないほど困難な状況に置かれている子どもがたくさんいます。(公益社団法人 AC ジャパン)

と、このCMは続きます。7月からテレビ・ラジオで流れています。

さて、答えは分かりましたか？ 答えは「0 (ゼロ)」です。サラさんの寝る時間は6時間、起きている時間は24時間－6時間＝18時間です。そして、起きている18時間の半分(9時間)で家の手伝いをし、その残りの9時間の3分の2(6時間)で妹の世話をします。残りは3時間。歩いて往復3時間かかる学校に行って帰るだけで終わってしまいます。サラさんのように、貧困や紛争などの理由から、世界中で6人に1人の子どもが学校に通っていません――とCMは訴えています。

日本でも最近「貧困」が話題になりました。でも格差こそありますが、全体的には貧しい国ではありません。紛争もありません。日本の子どもは毎日学校に通い、給食を食べ、遠足や修学旅行に行くことができます。本校の児童も同様で、6年生は全員修学旅行に行きました。でも、サラさんには給食や修学旅行というものが想像できないでしょう。

では、日本には学校や修学旅行に行きたくても行けない子どもは本当にいないのでしょうか。例えば、自然災害で避難生活を余儀なくされている子どもはどうでしょう。まだまだ「行きたくても行けない」状況はあるでしょう。

もう一度よく考えてみましょう。学校や修学旅行に行けることは「当たり前」ではないのです。行けない人がいることも忘れず、行けることに感謝しなくてはなりません。